

医学系研究に関する情報の公開について

(2020-72)

研究機関名*	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院
研究課題名*	耳科手術におけるドリル使用中の塵埃測定
所属科*	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
研究責任者*	西池季隆
研究実施期間	開始 西暦 2020 年 10 月 15 日 ~ 終了 西暦 2022 年 3 月 31 日 (予定)
対象疾患 (予定症例数)	耳科手術においてドリルを使用する症例 (30 症例)
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 西暦 2020 年 10 月 15 日 ~ 至 西暦 2021 年 3 月 31 日
研究概要*	<p>耳科手術においてドリル使用時には、中耳内の粘膜、出血および骨粉が周囲に飛び散り、周辺にエアロゾルを発生する。そのため新型コロナウイルス感染の危険性があるとされている。</p> <p>当科で行っている内視鏡下耳科手術におけるドリル使用では、術野は小さく、また絶えず水を流しながら乳突削開を行う内視鏡下水中下乳突削開術 (endoscopic hydro-mastoidectomy: EHM) を行っているためにエアロゾル発生は少ないものと予想される。</p> <p>ドリル使用中に発生する塵埃を測定し、EHM はエアロゾル発生危険性が少ない安全な術式であることを証明する。これが証明されれば、コロナ蔓延下においても、術者は安心して手術に臨むことが出来、手術場における安全性の向上に役立つ研究である。</p>
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について*	<p>連結可能匿名化を行う。対応表は部署で厳重に保管する。本研究で得られたデータを当院外へ提供する際には対応表は提供せず、連結可能匿名化されたデータのみを提供する。学会や論文等で研究成果を発表する場合も、個人を特定できる情報を明らかにすることは決して行わない。</p>
研究の問い合わせ先*	PHS: 4111 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 西池季隆

*記入必須項目